

令和5年度 第1回 山梨県がん対策推進協議会概要

1 日時 令和5年7月5日(水) 午後4時～5時30分

2 場所 オンライン開催

3 出席者(21人中19人出席)

飯島委員、大西委員、長田委員、小俣委員、木内委員、窪田(恭)委員、窪田(良)委員、小池委員、小嶋委員、筑山委員、津金委員、廣瀬委員、松田委員、山口委員、山寺委員、由井委員、依田委員、若尾委員、渡辺委員

4 次第

1. 開会

2. 議事

(1) 山梨県がん対策推進計画のこれまでの変遷について

資料1 山梨県がん対策推進計画のこれまでの変遷

(2) 第3次計画の振り返りについて

資料2 山梨県がん対策推進計画(第3次)の振り返りについて

(3) 山梨県がん対策推進計画(第4次)の骨子案について

資料3 山梨県がん対策推進計画(第4次)の骨子(案)

(4) その他

委員提供資料

5 概要

(議事)

(1) 山梨県がん対策推進計画のこれまでの変遷について

・資料1 山梨県がん対策推進計画のこれまでの変遷

(健康増進課から資料説明)

(2) 第3次計画の振り返りについて

・資料2 山梨県がん対策推進計画(第3次)の振り返りについて

(健康増進課から資料説明)

・各委員から意見

(概要)

・予防の観点からたばこ対策が重要である。喫煙率の数値目標は国の目標に合わせていただきたい。

・第4次計画では、希少がんや難治性がんの対策を推進していただきたい。

・これまで国より悪かった肝がんの死亡率が、令和3年度になって国と同水準になったことは素晴らしい。

- ・やはり一次予防が重要で、肝炎対策と同じように喫煙対策や HPV ワクチンに力を入れていくことが重要ではないか。
- ・大腸がん検診の精密検査受診率が全国並みになってきたことはよかった。大腸がんは早期発見すれば予後が良いため、さらに向上させていきたい。大腸がん検診で、便潜血陽性と分かった段階で内視鏡の予約をとれるような体制が効果的である。
- ・ピロリ菌の除菌は、胃がんの減少に大きく貢献している。
- ・現場の感覚としても、胃がんの患者が減り、今は大腸がんの患者の方が多い。
- ・たばこ対策の一つとして、学校におけるがん教育が重要である。山梨県のすべての小学校でがん教育をやっていけるようお願いしたい。
- ・歯科医師会としては、周術期口腔機能管理ということで、化学療法や術前の口腔機能の管理をして治療がスムーズに進めるように協力している。今後も、患者に寄り添いながら治療できるような環境を、歯科医療を通じて提供していきたい。
- ・相談支援センターが山梨でできる医療をきちんと知った上で、もう少し発信する必要があると思っている。

(3) 山梨県がん対策推進計画（第4次）の骨子案について

- ・資料3 山梨県がん対策推進計画（第4次）の骨子（案）

（健康増進課から資料説明）

- ・各委員から意見

（概要）

- ・全体目標を「誰1人として取り残さないがん対策を推進し、すべての県民とがんの克服を目指す」としたことは、とても良い。
- ・がん診療連携拠点病院の施設要件に、シェアードデシジョンメイキングの考え方が盛り込まれた。第4次計画には、ぜひこの考え方を盛り込んでいただきたい。
- ・各市町村が、それぞれの現状を把握し、課題を考え取り組んでいく体制にしていきたい。
- ・国でも、がん診療連携拠点病院連絡協議会がとても重要視されている。山梨県においても、県立中央病院を中心に活性化していただき、県内のがん医療の環境に関する情報を共有するカタチができるとういと思う。
- ・職域のがん検診の受診率把握や精度管理、要精検者に対するフォローアップなど課題が多い。職域の関係者の方々にも、もっとがん検診のことを知っていただきたい。